

災害用トイレカーについて

1 経緯と背景

災害時においても衛生的に利用できる快適なトイレ環境の整備を通じ、健康で安心な避難所運営を図るため、災害用トイレカーを3台導入しました。

車いす用スロープやオストメイト対応便器などを備えた、どなたでも快適に使えるユニバーサル仕様のトイレカーです。なお、軽トラックベースのユニバーサル仕様トイレカーの導入は、東北で初となります。

2 運用

- 災害時、市内指定緊急避難場所等において活用
- ニーズに応じて、市外の災害現場への派遣
- 平常時における市内イベント等（スポーツイベント、祭りなど）において活用

3 車両仕様(1台あたり)

- 寸法：長さ3,680mm、幅1,650mm、高さ2,700mm
- トイレ1個室を備えた軽自動車（普通自動車登録）
- 8ナンバー糞尿車登録 ○普通自動車免許で運転可能
- 乗車定員2名、4輪駆動、オートマチック車
- ドライブレコーダー、バックモニター、ナビゲーションシステム、ETC車載器

4 架装部仕様(1台あたり)

- 簡易水洗式暖房便座（オストメイト対応型） ○ウォシュレット ○擬音装置
- 手洗い、鏡 ○おむつ交換台 ○ベビーチェア ○着替え台 ○換気扇
- 車いす用スロープ ○冷暖房兼用エアコン ○テント（3m×6m） ○LED照明器具
- 清水タンク70ℓ、便槽タンク250ℓ（約100人の使用が可能） ○発電機
- ソーラー発電システム ○サブバッテリー（ソーラー又は外部電源から充電し電力を供給）

5 排出方法

バキュームカーによる汲み取り又は格納式延長ホースにより許可のある場所（下水道管マンホールなど）にて排出

6 導入費用

38,610千円（緊急防災・減災事業債を活用）

7 トイレ室内イメージ画像



8 トイレ外観図(イメージ)



9 トイレ室内平面図

